

令和4年度 学校評価書

学校教育目標 「すすんで学び、よりよく生きる人を育てる」

めざす子ども ○心も体も元気な子ども ○生活する力のある子ども ○自分の思いや気持ちを伝える子ども

【評価】 保護者による評価 A：3点、B：2点、C：1点、D：0点として点数の合計による評価（質問項目ごとと保護者最大 72点）保護者24名
教員による評価 A：3点、B：2点、C：1点、D：0点として点数の合計による評価（質問項目ごとと教員 最大42点） 教 員14名
達成度 A:達成できた（8割以上） B：ほぼ達成できた（6～7割） C：あまり達成できなかった（4～5割） D:達成できなかった（3割以下）

	めざす学校	重点	評価項目	具体策・評価指標等	達成状況	達成度	課題（△）及び改善策（→） （※…課題は特にないが今後も取り組む内容）
1	安全な学校	安心・安全な学校	(1) 新型コロナウイルス感染症防止対策として、児童・職員の健康管理、環境整備、衛生面での指導を実践している。	基本的感染症防止対策の徹底（うがい、手洗い、マスク着用、換気、消毒等）	・授業（体育・活動）の後の手洗いや、休み時間の換気、各教室等の消毒など徹底して行うことができた。 ・学校薬剤師の助言を受けて、効果的な換気の徹底に努めることができた。CO2 モニターも活用している。 ・手洗いとハンカチの携帯が習慣化できている。家庭の協力のもと、ハンカチを複数持たせてもらい、衛生面の確保に努めた。 ・感染症対策に努めたことで、感染拡大などもなく過ごせた。	A	【健康・安全】＜生活部＞ △児童同士の歯磨きの時間帯が重なり、密になる時間帯が増えてきた。 →マスクを外している時間帯が長いとため、時間差をつけたり歯磨きの場所を工夫したりして密を避けるようにする。 △校内で陽性者がした場合の歯磨き指導について。 →管理職・養護教諭と確認し、一定期間仕上げ磨きを行わないなど対策を考える。 △津山小学校の運動会参加時など、屋外の活動場面での熱中症防止対策について。 →日よけテントの借用なども検討し、児童の安全確保に努めていく。
			(2) ヒヤリハットの集積や解決策の共通理解を通して、事故やいじめの未然防止を行っている。	毎日の学習環境点検、通学時駐車場での安全確保、きめ細かな生活指導	・通学時、職員2名が、人の通行と車の動きに細心の注意を払い、誘導した。事故なく児童が安全に登校できている。 ・児童について日常的に情報交換をし、いじめ等の未然防止に努めている。		【危機管理・津山小と安全面の連携】＜学部、生活部＞ △登下校時の駐車場でのより一層の安全確保について。 →天候状況や道路状況等により駐車場への出入りが困難な場合は、安全確保のために津山公民館駐車場で乗り降りができるようにする。（現在、公民館の理解と協力のもと対応している。）
			(3) 津山小学校と合同の避難訓練、安全マニュアルに基づく職員研修等を実施し、緊急時の対応に備えている。	避難訓練、職員研修の実施	・津山小との合同避難訓練や心肺蘇生法講習会など、計画通り実施できた。 ・天童校単独での土砂災害時の垂直避難訓練を実施することができた。		【保護者との連携】＜教務部＞ △保護者会活動の年間計画があるとよい。 →春に計画案を出せるように努める。
			(4) 児童・保護者の相談や地域の学校等からの要請に応じて、関係機関と連携し特別支援コーディネーターと巡回相談員を窓口にして相談事業等に努めている。	保護者・関係機関との連携	・保護者と連絡帳や登下校時のやり取りを通して、連携しながら一人一人に応じた指導・支援ができた。 ・相談支援事業所や放課後等デイサービス事業所と情報共有し、指導・支援に生かした。 ・天童市内の幼稚園や小学校の要請に応じて、巡回相談を行うことができた。		
			評価点集計 教員 (1)40点 (2)38点 (3)40点 (4)38点 156点/168満点 92.9% 保護者(1)(健康・安全：66点) (6)(保護者との連絡：66点) 132点/144満点 91.7% 集計結果 92.3%				
2	楽しい学校	一人一人に応じた指導・支援の充実 楽しく充実感のある授業の改善	(5) 個別の教育支援計画と個別の指導計画を作成・活用し、個に応じた指導・支援に取り組んでいる。	作成・活用、毎日の授業記録と振り返り	・今年度も、個別の教育支援計画、個別の指導計画、個別の単元題材計画作成に早い時期から取り組めた。保護者へ第1回保護者面談(5月)で資料を提示した。作成に際して、客観的な実態把握と評価ができるよう、複数の目で検討した。	A	【年間指導計画・学習指導】 <教務部、小学部＞ △評価の年間スケジュールや記載内容について周知したが、十分伝わりきれていない場面があった。 →評価についての研修や資料提示などを丁寧に分かりやすくする。 △「思考・判断・表現」「学びに向かう力・人間性」の部分を書き分けることが不十分なことがあった。 →重なる部分もあるため、担任が違いを意識して保護者の方に説明できるようにする。 △これからも児童が安心して楽しく学校生活を送れるようにする。 →今後も、児童の実態に応じた配慮等について職員間で共有していくとともに、保護者の方と連絡を密にし共通理解のもと学習活動を進めていく。
			(6) 集団生活の中で一人一人の力を発揮できるように指導・支援ができています。	児童の教育的ニーズ・実態の情報交換 実態や障がい特性に応じた学習内容・形態の検討と実践	・むらとくまつりの発表グループ編成、体育でのチーム分けや活動内容の検討、学部会及び終礼での情報共有など、児童にとって必要な支援や体制を間で共通理解し、指導支援に生かした。 ・ティームティーチングを効果的に活用し、教員の得意なことを生かした授業を行うことができた。 ・集団学習で、友達を意識したり関わりあったりすることが増えた。		
			(7) キャリア教育の視点から、日常生活の指導やコミュニケーション能力の育成を大切に、経験の拡充を図り、生活年齢に合わせた体験的な学習に取り組んでいる。	段階的・発展的に進める指導・支援	・6年児童の進学先となる楯岡特別支援学校中学部の作業学習を取材させてもらった。天童校の卒業生をはじめとする先輩たちが働く姿を見ることで、中学部進学への意識や学習のイメージをもちやすくなった。 ・給食では栄養士によるお話や自作教材の掲示など親しみやすく分かりやすい食育指導が行われた。苦手なものも食べようとしたり食事のマナーに気を付けようとしたりする児童の姿が見られた。 ・今後も、中学部、高等部、社会に出たときの姿をイメージしながら、指導にあたっていく。		【研究・研修】＜研修・相談部、教務部、小学部＞ △研究の最終的なゴールや研究の方法など、手探り状態で始めたため、分かりづらい部分が多くなってしまった。 →講師の先生から御指導いただいたことや、出された意見を次年度に生かし、よりよい研究を進めていく。 △研究の流れやつながりが見えにくいという課題があった。 →事後研等で出された意見を研究に取り入れ、次の授業研に生かせるようにする。 →2年目は、早めに様々な準備に取り組む。
			(8) 授業研究会の計画的な取組や研修をととして学習指導の充実に努めている。	計画的な授業研究会の実施と実践の積み上げ、事前・事後研究会での情報発信・指導助言による専門性の向上	・生活単元学習と教科との関連を意識し授業づくりを行った。 ・授業研で話題になったことを次の授業研に生かすといったつなぎの部分については、やや課題が残る。 ・計画的な実施という点で課題がある。年度途中の見直しはあってもよいので、年間を通してあるいは年度を越えた計画があった方が、努力するやりがいを感じられると思う。		

			(9) 学習指導要領に基づいた目標設定や3観点による評価について研修を深め、授業改善に努めている。	実態把握と目標設定、3観点の評価と授業改善	・評価後に授業について振り返り、後期の授業改善に取り組んだ。 ・今後も学習指導要領を読み込み、授業作りに取り組んでいく。 ・「学びに向かう力・人間性」の目標の書き表し方が、まちまちであった。	
			(10) 津山小学校との交流や地域交流等をとおして、人との関わり方や自分の思いを伝える力を育んでいる。	学校間交流（計画的、日常的）、地域交流（施設・人材等資源の活用）、地域資源の活用	・津山小との交流（仲間を迎える会、フレンズデー、運動会や学習発表会の参加、1年生交流）や、地域交流（花のプランターつくりやお話会）など、様々な交流ができた。	
			(11) 体育や遊びの中で教師と一緒に楽しく活動し、運動の楽しさや喜びを味わう実践ができている。	体育、遊び、スポーツに対する興味・関心を高める実践	・体育で、全教員が共通理解のもと雰囲気を盛り上げながら楽しく運動に取り組むことができた。 ・月ごとに体育の内容を変えていることで、児童も楽しく活動できている。 ・休み時間も、肥満予防の取り組みとして縄跳びやマラソンを取り入れて運動することができた。	
			評価点集計 教員(5)35点 (6)37点 (7)34点 (8)31点 (9)32点 (10)34点 (11)41点 244点/294満点 83.0% 保護者(2)(成長：67点) (3)(指導支援：67点) (4)(体を動かす：67点) (5)(交流：62点) 263点/288満点 91.3% 集計結果 87.2%			
3	頼りになる学校	保護者や地域への情報発信	(12) 教育相談の実施や地域の学校の授業研究会等での指導等、特別支援教育のセンター的機能を果たしている。	他校授業研究会への指導・助言、外部教育相談	・天童市内の幼稚園と小学校の巡回相談に対応した。 ・天童市教委委嘱の小学校授業研究会の助言を行った。	A
(13) 地域の方との交流、地域回覧用の学校だよりの定期的な発行、学校紹介リーフレットの作成・活用により、天童校の情報を発信している。	地域資源の活用、学校だよりの発行等	・学校だよりだけでなく、山形新聞への掲載など、児童の活動の様子を地域の方々に積極的に発信することができた。 ・作品展など、地域に向けた発信に積極的に取り組んだ。				
評価点集計 教員(12)36点 (13)38点 74点/ 84満点 88.1% 保護者(7)(地域への発信：60点) (8)(学校からの情報：63点) 123点/144満点 85.4% 集計結果 86.8%						
4	働いている学校		(14) 会議や打合せの精選・適切な時間設定により、授業の準備や教材研究、研修等の時間の確保に努めている。また、在校等勤務時間管理を行い、より良い働き方に努めている。	一人一人の働き方改革の意識、計画的・効率的な業務の進め方	・終礼の時間の変更や回数の見直しは大変よかった。 ・全体で連絡が必要な場合、掲示板等も利用してはどうか。 ・研修相談部の2学期の仕事が多く、授業準備や教材研究に十分にに取り組むことが難しい時期があった。 ・教材準備の時間確保や、帳簿等作成で簡略化できることはないか工夫したい。 ・会議等は少ない方だが、研究のビデオ視聴、事後研などで予定が入ってくると忙しい週があった。できるだけ予定は早めに入れ、学級事務や授業準備にじっくり取り組める日が週に数日でもあると余裕が違うかと思う。	B
(15) 全職員で情報を共有し、課題解決に向けて取り組んでいる。	一人一人の専門性、得意分野を生かした役割や担当の調整、意見や思いを出し合える場や環境	・ICT など研修会の場だけでなく普段から得意な教員が情報を発信している。質問にも丁寧に答えてくれるので大変ありがたい。 ・ICTを活用した効果的な授業が多く行われている。iPadの操作方法や活用法を得意な教員が教えることで、利用しやすくなっている。職員同士で児童の話をしやすい雰囲気がある。 ・合同授業や居住地校交流の場面では、担当者の交換をして対応するなど、協力し合って児童の指導や支援にあたることができた。 ・休みなどで教員数が少ないときも、チームワークで、安心安全、楽しい授業に努めていると思う。 ・体育や行事など、合同授業で声を掛け合い、教員全員で児童を見る体制ができている。				
評価点集計 教員(14)29点 (15)36点 65点/ 84満点 77.3% 集計結果 77.3%						

【学校間・地域・居住地校交流】＜教務部、小学部＞ △津山小との交流が双方にとって有意義なものになるよう工夫が必要。 →教務主任を通して津山小と相談する。グループや活動場所の割り当てを児童の実態に合ったものにしていく。津山小の考えを踏まえながら、話し合っていく。 △居住地校交流は、今年2回実施して大変有意義であった。 →今後も保護者の意向を確認しながら段階的に取り組み、双方の児童にとって意義のある活動を無理なく計画・実施する。
【かわり・思いを伝える力】＜全体＞ ※今後も、津山小学校との交流や地域交流に取り組んでいく。
【体育・遊びの充実】＜生活部、小学部＞ ※体育が合同であることで、異なる学年の友達のよさや技能面など学ぶ機会が多かった。学習内容を工夫し、喜びを共有する場面や共感する場面も取り入れた学習の場となった。今後も児童が意欲的に取り組める授業づくりに努める。
【地域への情報発信】 ※「地域に根差し地域に開く特別支援学校づくり」を目指すために、今後も学校の実情に合わせた独自の継続的な取組が必要である。共生社会の実現に向けて、一步一步地道に努力を重ねていく必要がある。また、地域での児童の作品展示や新聞記事の掲載依頼などを行い天童校のことを地域に広く発信していく。
【センター的機能】＜教務部、小学部、巡回相談員＞ ※巡回相談について、今後も作成した資料など参考になるものを教員間で回覧し共有する。外部支援については、部員の仕事の重なり等配慮し調整していく。指導・支援する内容をよく確認し、どの部員も依頼に対応できるようにする。
【働きやすさ、協働】＜全体＞ △年度当初の多忙解消 →①ノー会議デーを設ける。 ②分掌部計画は今年度中に次年度骨子案を作成する。 ③作業分担を心掛けることに留意し、教育課程を作成する。 △公開研や就学相談の時期が重なり多忙だった。研修部員を増やせないか。 →体制を工夫する。 例、公開研関係の研修部の話し合いに必要に応じ教頭・教務・学部主任が入る。 就学相談対応 従来の相談部3名→相談部2名＋教務か学部主任が入る。 △就学相談の依頼（5件すべて）が11月中旬から12月上旬に集中した。 （学校見学も5件すべてが10月末から11月中旬に集中した。） →天童市教委と早めに連絡を取り合い、対応していく。